

ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Since 2007



海上の森も春を迎え、
今年も花々がきれいに
咲きそろいました。
ウグイスやオオルリ
が今日も元気にさえず
っています。



【集】海上の森はいま

海上の里にため池が整備されました
あいち自然ネット 22年度定期総会

 **この人！ 「森のようちえん」 子育ち園 でんでんむし 阿部恵美さん**

海上の森の発行物を紹介します

「海上の森 春の自然観察ガイドブック」

海上の森の自然ガイドブックシリーズの第5弾となる、「春の自然観察ガイドブック」を作成しました。春の森は木の芽吹きや新緑が鮮やかで、生き物たちが命輝く季節となります。瑞々しくやわらかい新葉を求める昆虫は可愛らしさがあります。また、落葉の間から春を待ちかねた林内は、植物や野鳥哺乳類の観察に適しています。この冊子をきっかけに、ぜひ春の海上の森へも足を運んでいただければと思います。

発行：あいち海上の森センター、全56ページ、A5サイズ

販売：あいち海上の森センター、中央県民生活プラザ情報コーナー

販売価格：200円



特集 海上の森はいま

海上の里にため池が整備されました



海上の里では、耕作や水田・畑の復元といった里づくり活動を進めていますが、水不足の解消が課題となっていました。このため、平成19年から海上の森の会、地元地権者、センターの関係者による「ため池勉強会」や、「ため池プロジェクト」などにより、ため池整備について様々な検討が行われてきました。

これらの検討結果を受け、当センターの事業として、ため池設置工事を行いました。工事にあたっては、事前に周辺の生物調査を行うとともに、元々の自然を最大限に生かすよう、土堰堤を採用し、作物や生物にやさしい土壤改良材を採用するなどの工夫をしました。

また、本工事では、本年度開催される COP10 のエクスカーションで訪れる方々に海上の森の生

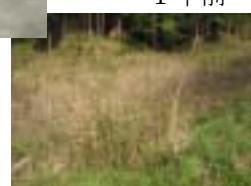
物多様性を知っていただくよう、各所に説明看板の設置準備も行っています。

今回の整備をスタートとして、今後下田の再生の取組を進めていくとともに、COP10に向けての情報発信を行っていきたいと考えています。



1年前

海上の里に整備されたため池



あいち自然ネット22年度定期総会



県内の自然環境に関わる団体・施設で構成される「あいち自然ネット」の定期総会が4月25日に当センターで開催されました。平成19年の発足以来3回目となる今回の定期総会では、午前中の総会後、昼食を交えながらの意見交換会の他、午後からは一般参加者も参加した「海上の森 いきものつながり体感ツアー」が開催され、会員の持つノウハウを活かした各種フィールドワークが行われました。夜は名古屋文化短期大学のみなみやま学舎にある合掌造り古民家にて囲炉裏を囲んでの交流会と、盛り沢山の企画で会員同士の交流を深めることができました。



今年度開催される COP10 に向け、更なる連携が期待されます。

新・所長あいさつ



4月から当センターにまいりました小網です。

落葉樹が緑の若葉を日に日に茂らせており、海上の森も新しい季節を迎えてます。

県有林事務所に勤務したこともあり、海上の森は懐かしい場所です。

平成18年9月に開館し、当センターも今年で4年目を迎え、約97,000人の方にご来館いただきました。そして、海上の森を「学びの森」として開催しております「森の教室」、「里の教室」などの体験学習プログラムにも多くの方にご参加いただいております。また、海上の森大学も開校以来、110名の修了生を送り出し、各地で森林・里山の保全活動の実践者として活躍されています。

これからも、多くの県民の皆様方と協働・連携し、海上の森の保全と活用を通じて、森林と里山に関する学習と交流の拠点づくりを進めてまいりますので、ご参加、ご支援をよろしくお願いします。



この人！「森のようちえん」

子育ち園 でんでんむし 阿部 恵美さん

森のようちえん 子育ち園『でんでんむし』の活動を始めて1年が過ぎました。それ以前にも息子と共に自然の中で過ごす心地良さはいろいろなところで体験していましたが、晴れの日も雨の日も自然の中で思いっきり遊び、光や風・水や土を肌で感じる喜びを改めてかみしめている今日この頃です。素朴で地に足の付いた味のある生活をしながら、のびやかな成長を期待して四季折々変わってゆく自然の中で子ども達と過ごす毎日は本当に気持ちのいいものです。

子ども達が遊びの主導的立場となって遊ぶことのできる機会や環境を作り、そこに安全に配慮しながら見守ることのできる大人がいることで、本来子ども達が持ち備えている自らの感覚を駆使して、能動的・自主的・自律的な成長が期待できると信じて日々活動を続けております。

センター職員の随想リレー かたりべのひと言

一センターのまわりの動物たち

センターは海上の森の端にあります。でも、センターのまわりや遊歩施設でもいろいろな動物に出会うことができます。いつでも見られるわけではありませんが、耳を澄ましたり、見上げたり、足元を見たりすると、ふいに動物たちが姿を現わしてくれることがあります。ある日、落ち葉が動くのでじっと見ていたら、ヒミズというモグラの仲間が、落ち葉の隙き間から顔を出してくれました。別のある日、ヒヨドリが騒ぐのでその方向を見上げると、オオタカが林の中から飛び出してきました。ほかにも、田んぼでおなじみのトノサマガエルに森の中の沢で出会ったり、綺麗な色のタマムシがふわふわ飛ぶ姿が見られたり、霜の降りた地面に動物の足跡を見つけたりと、いろいろな出会いがあります。森の端ではありますが、センターのまわりでもぜひ動物との出会いを楽しんでください。(S・A)

あいち海上の森センター主催のムーアカデミーセミナーに参加し、幼児森林体験の指導者としてスキルを学ぶことで、今までとはまた違った角度からこどもや自然を見つめ直すきっかけとなりました。また、森をキーワードにいろいろな方面の方々とお知り合いになることが出来たおかげで知識も増えました。また、多様性の大切さも強く感じました。

これからも子ども達一人ひとりの育ちに寄り添いながら森のようちえんの活動を続けていきたいと思います。幼児森林体験フィールド等もじょんじょん！？活用させて頂きたいと思っています。

プロフィール 約10年間、幼稚園・保育園に勤務。結婚・出産を経て、森のようちえんに出会い、2009年『でんでんむし』を仲間と共に立ち上げ、日々子ども達と共に森の中を駆け回っている。



森のなかま

ホトケドジョウ 海上の森には湿地や湧水を伴う小溪流があり、東海地方に固有の動植物や稀少な種の生息環境となっていますが、ホトケドジョウはその代表種にあげられます。

全長6cm程度で円筒状の細長く、赤みがかつた黄褐色の体をしています。ヒゲは4対で、上唇に3対あり、1対は鼻腔から発達したものです。

主に浮遊性から底生性の小動物を食べ、単独で泳ぐことが多く、産卵時以外は群れて泳ぐことはありません。

近年各地で生息地が失われており、愛知県及び環境省のレッドリストでも絶滅危惧種に指定されています。このため、あいち海上の森センターでもホトケドジョウの生息状況調査を実施し、海上の森の保全と活用のために取り組んでいます。



展示の目玉

「くす玉人形モリゾー・キッコロ春夏秋冬」

名古屋市守山区の人形作家八島昭子さんが制作してきた作品を展示しています。(6月末まで)

折り紙を30枚同じ形に折って組み立ててできた「くす玉」が、こんなにかわいいモリゾー・キッコロに変身しました!

八島さんは、モリゾー・キッコロが仲間たちと遊んだり、ムササビの来客を受けたりと、楽しみながら森を守っていてくれることを想像しつつ制作されているとのことで、浴衣を着ていたり、紅葉狩りをしていたりと、四季折々の姿のモリゾー・キッコロに会うことができます。ぜひ会いにきて下さいね。



イベント・参加者募集



イベント名	開催日	定員	募集期間
♪調査学習会 一海上の森の夏のキノコ-	7／18（日）	30名	5／18-7／4
♪調査学習会 一海上の森の水生生物-	8／1（日）	30名	6／1-7／18
♪調査学習会 一海上の森の昆虫-	8／8（日）	30名	6／8-7／25
♪里山のものづくり 一森の素材を使った工作-	8／28（日）	30名	6／28-8／14
♪海上の森 生物多様性ツアー	9／4（土）	50名	7／4-8／21
☆森の教室 -森の自然探検 木登り、秘密基地づくり-	9／5（日）	50名	7／5-8／22
☆森の教室 -森の自然探検 森の素材を活かした工作-	9／19（日）	50名	7／19-9／5

対象 ♪…小学生以上、小学生は親子同伴 ☆…小学生以上、小中学生は親子同伴

《応募方法》

官製はがき、FAXまたはE-mailに①イベント名②住所③氏名④年齢⑤電話番号を記入し、申込期限(当日消印有効)までに、下記申込先へお申し込みください。申込多数の場合は、抽選により決定し結果を通知します。

《申込先》

NPO法人 海上の森の会 (〒489-0857瀬戸市吉野町304-1「あいち海上の森センター」内「海上の森の会」事務局
TEL/FAX:0561-21-9298、E-mail:morinokai2004@kxa.biglobe.ne.jp)

編集後記

日に日に緑が濃くなり、さまざまなチョウやトンボに出会うなど、初夏の気配も感じられるようになってきました。日差しも強くなってきていますので、皆様も海上の森へお越しになる際には、紫外線対策と水分補給を忘れないで下さい。

その他のお知らせ



海上の森の多様な自然を求めてたくさんの方が「海上の森」を訪れてみえます。特に、今年度は、COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)が愛知県で開催され、都市近郊の貴重な里山である「海上の森」もますます注目されるものと思われます。

海上の森では、自然を大切に、また、気持ちよく安全にご利用いただくためのマナーを定めています。次の事項を守って「海上の森」を将来にわたってみんなで守って育てていきましょう。

①歩道を外れて湿地や林内に入らないでください。
②動植物の捕獲や採取、また、外からの持ち込みはしないように。
③自動車・バイクや自転車などは、市道以外へ乗り入れは、しないでください。
④ペットは、林内や歩道へは連れて歩かないでください。
⑤たき火・花火などの火気使用は、厳禁です。
⑥自分のゴミは、必ず持ち帰りましょう。
⑦自動車で来られた方は、駐車場に停めて、徒歩で散策してください。
⑧十分な水と食料を持って入りましょう。
⑨地元の人の暮らしや土地に迷惑をかけないようにしましょう。

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)
発行日 平成22年5月15日
〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1
TEL 0561-86-0606 FAX 0561-85-1841
E-mail kaisho@pref.aichi.lg.jp
URL http://www.pref.aichi.jp/kaisho/

